職場の接触場面に求められるもの
～日系ブラジル人就労者へのインタビューから～

京都外国語大学大学院
博士前期課程
辻村　真祐生

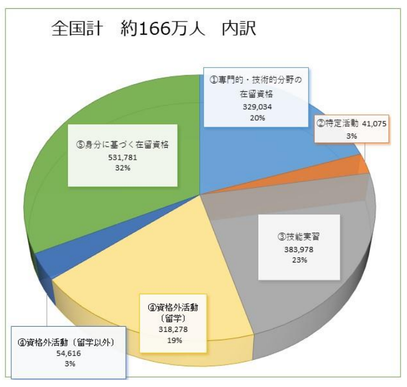
背景

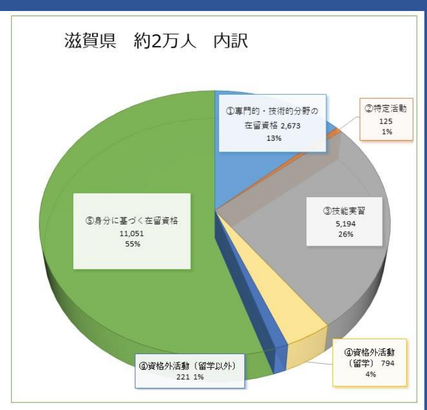
・在留外国人の増加・多様化と多文化共生社会

・多文化共生の理念（外国人集住都市会議）
外国人と受け入れ社会の間で「双方向」的に努力する関係を作りだす必要性（井口,2016）

・日本語学習の機会に恵まれない「身分に基づく在留資格」の外国人就労者が多い
・「日本語教育の推進に関する法律」第6条関係「事業主の責務」
・製造業、非正規雇用では日本語教育を行うことが難しい現実

在留資格別外国人労働者数





厚生労働省
「外国人雇用状況」の届出状況（令和元年10月末現在）

先行研究

・ 就労現場の簡略化された言語活動による「第二言語習得の限界の存在」
・言葉への意識から「言語発達の可能性」
（菊岡・神吉,2010）

・困難を感じる行動についての調査
・ブラジル人《人間関係行動》
・日本人　《業務遂行行動》《経営管理行動》
（西田,2003）

・多文化共生に向けた脅威ゼノフォビア（外国人嫌い）と外国人の不安定就労
・移住者の第二世代が受け入れ社会と外国人コミュニティを架橋しうる
（池上, 2016）

目的

職場の接触場面に求められるものについて仮説を構築する

外国人就労者へのインタビューから職場（製造）における接触場面のモデル構築を行い、コミュニケーション行為による影響を探る

多文化共生のために、受け入れ側となる企業、共に働く日本語母語話者と外国人就労者に何ができるのか

研究方法：構造構成主義的質的研究法（SCQRM）

調査場所, 対象者
滋賀県, 身分に基づく在留資格
（製造業に従事した経験のある日系ブラジル人　6名）

半構造化インタビューガイド　（主な質問項目）

現在の仕事状況
・雇用形態
・自分にとって今の仕事は…
（今後も続けたいか）その理由
・今後の生活・予定
（帰国する／日本に滞在）

状況・心境

来日前、来日当初
・日本語力、年齢
（インタビュー前のFS）
・日本での生活面
（家族・仕事・友達）
・日本・日本人に対しての印象

そのときの状況
原因は？
解決・解消方法は？

日本での職場環境
・辛かったこと
・帰国しようと思ったこと
（実際に帰国したことはあるか）
・日本語は必要か？
（理由を含めて）

なぜ今も日本にいる？
来日から現在まで流れ

分析ワークシート　例

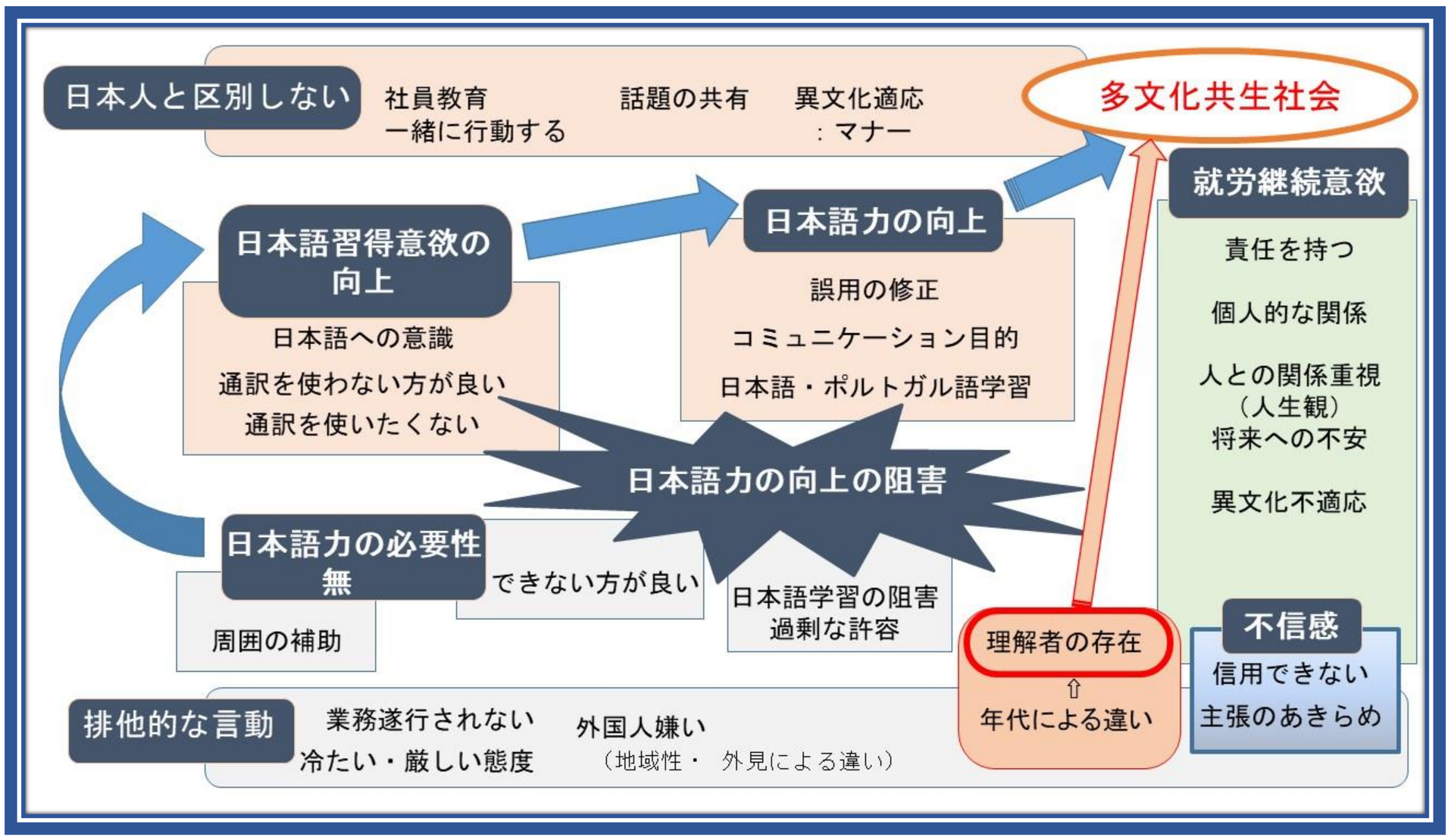
概念名		過剰な許容
定義		日本語に対し許容しすぎで修正されない
ヴァリエーション	BM5	①今、例えば、みんな適当でいい。外国人だから適当でいい、じゃない。それ、外の生活で適当でいい、あかんで。 ②リフト免許取って、日本語全然わからない。免許テストしてから「免許は、どう？」「大丈夫です」「取った？じゃあ『入庫』して」でも俺、日本語、全然わからないです。何？「入庫」。毎日「入庫！」毎日、全部怒ってる（と思ってた）でも、今は、ありがとう（と思っている）。
	BF3	③関西に来たら違ったんですね。間違っても大丈夫。気にしない。間違っても直してくれない。
論理的メモ	②	本人に説明などをするわけではなく、作業に合わせて、用語を使い続けていた上司

概念名	6	理解者の存在
定義		排他的な言動の中に違う対応
ヴァリエーション	BF2	①リーダーが、「もっとしゃべって」って。間違うの恥ずかしかったけど、「大丈夫、しゃべって」って。きいてくれた。で、つかうようになった。
	BM6	②みんなじゃないけど。今、やさしい。 （同じ会社なのに？） 前は若くない人。みんな年上。だから、ブラジル人みたら、きらいとか。でも今、いっぱい若い人しゃべる。釣りとか、女の子の話とか(笑) ③リーダー若い。
	BM6	④班長、若いから大丈夫。話すのは難しい。言ったら、分かってくれる。今も、恥ずかしい。丁寧（な言葉）とか、難しい。カラオケとか(笑)はずかしいけど（行く）
論理的メモ		②従業員の世代交代により、若者と接するようになり環境が変わった。直接「はずかしい」とは言っていなくても、日本語母語話者に話すのは、はずかしい。

概念名	30	日本語への意識
定義		接触場面で使用される言葉に関心をもち意識する
ヴァリエーション	BF3	①けど、正しい日本語、きれいと思いました。
		②ん～仕事しながら、もし私たちが間違ってたら。わぎわぎ「これが正しい」そういうのは無いの。仕事しながら、正しい言葉を言ってくれるだけ。でも直してくれてるってわかってた。
	BM5	③大阪弁つかう、きらい。 わからへん、できひん…きらい。「はいはい」、「すみません」私は好き、きれいな日本語好き。 きれいな言葉、レストランと、お店と、聞く。ZARA知ってる？お店、その言葉きれい、やさしい。あと、パン屋さん、野洲の。彼の言葉はめっちゃやさしい。好き。 きれいな日本語聞く、がんばる気持ち
	BM6	④あ、リーダーとか、あとライン仕事一緒、日本人も一緒仕事。だから話できないことがある。だから勉強する、ちょっとできる（笑顔）
	BM4	⑤間違い多いな。間違ってる、すぐ教えるがいい。 今、例えば、みんな適当でいい。外国人だから適当でいい、じゃない。それ、外の生活で適当でいい、あかんで。
論理的メモ	②	修正されているという気付き、意識
	③	「きれいな日本語」を聞くと自分も話したくなる
	④	話そうとして話せなかった気付き
	⑤	自分の日本語が間違っているという気付き

２５の【概念】を生成
類似する概念を８つの【カテゴリー】にまとめ、モデル構築

モデル



考察

・「第二言語習得の限界の存在」
・「言語発達の可能性」
（菊岡・神吉,2010）

→ 外国人就労者の意識だけでなく
日本語母語話者の意識により
「言語発達の可能性」

・ブラジル人《人間関係行動》
・日本人《業務遂行行動》《経営管理行動》
（西田,2003）
・外国人嫌い
・移住者の第二世代が架橋しうる
（池上, 2016）

→ 接触場面での排他的な言動により、《人間関係を重視》するようになる
職場の世代交代により、良好な関係
留学生・若い日本語母語話者に期待

職場の接触場面に求められるもの

外国人就労者が日本語への意識・関心を持つこと

日本語母語話者が誤用への**過剰な許容を控えること**

日本人と区別しないこと
（排他的な言動による就労継続意欲への影響）

移住者の第二世代・留学生・若い世代の日本語母語話者

大きな役割

言語発達・成長、職場への定着 → 社員の成長・人財の安定

参考文献
・池上重弘(2016)「浜松市と企業・大学・市民による外国人住民受け入れの経緯と課題」『社会政策』第8巻第1号,57-68
・菊岡由夏・神吉宇一 (2010)「就労現場の言語活動を通した第二言語習得過程の研究―『一次的ことばと二次的ことば』の観点による言語発達の限界と可能性―」『日本語教育』146号,129-143
・西田ひろ子（編）(2003)『日本企業で働く日系ブラジル人と日本人の間の異文化コミュニケーション摩擦』創元社
・文化庁(2019)「日本語教育の推進に関する法律の施行について（通知）」(元文庁第397号)
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/other/suishin_houritsu/1418260.html(2019年12年3日閲覧)
・厚生労働省(2020)「『外国人雇用状況』の届出状況まとめ（令和元年10月末現在）」報道発表資料令和2年1月31日
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09109.html（2020年2月4日閲覧）